

流域治水対策(農業水利施設の整備)【農林水産省】

施策概要 農業水利施設の排水能力強化や洪水調節機能強化のため、排水機場・排水路の整備等を実施

効果 市街地・集落を含む農村地域の湛水被害を防止

全国的な対策と効果

対策1 排水機場整備



排水機場の更新(ポンプ口径の拡大等)により、排水能力を向上



排水機場の新設により排水能力を強化

対策2 排水路整備



排水路の改修により、最大排水能力を向上

対策3 洪水調整池整備



洪水時に一時的に水を貯留し、水路への流出を調整

5か年加速化対策の効果

直近の大雨と過去に大規模な浸水被害をもたらした同規模の降雨による湛水被害の比較

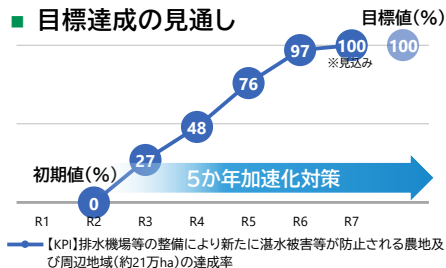
①	茨城県水戸市東大場・島地区 (排水ポンプの改修)	【H23.9 豪雨】	連続雨量48mm/h 湛水被害あり	→	【R5.6台風2号】	連続雨量51mm/h 湛水被害なし
②	福岡県久留米市浮島地区 (排水機場の新設)	【R2.7 豪雨】	最大48.0mm/h 湛水被害あり	→	【R5.7豪雨】	最大51.0mm/h 湛水被害なし
③	石川県白山市山島用水地区 (用排水路の改修)	【H29.7 豪雨】	最大21.0mm/h 溢水被害あり	→	【R4.8豪雨】	最大47.0mm/h 溢水被害なし
④	富山県砺波市ほか(庄川左岸) (洪水調整池の新設等)	【H20.7豪雨】	最大114mm/day 湛水被害あり	→	【R5.7豪雨】	最大213mm/day 湛水被害なし

■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
237億円	126億円	119億円
R6	R7	累計
143億円	201億円	827億円

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

■ 目標達成の見通し



効果発揮事例

排水機場の排水機能強化により、農地や市街地・集落の湛水被害を防止する



茨城県



茨城県水戸市



県営農村地域防災減災事業「東大場・島地区」

■ 湛水被害の防止



対策前
ポンプ口径
φ550×1台
φ500×2台
φ300×1台

排水能力 2.03m³/s



対策後
ポンプ口径
φ800×1台
φ500×3台

排水能力 3.05m³/s

【防災工事】
>>>

■ 事業費

6.1億円(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)0.3億円)

■ 事業の背景(地域の課題)

かつて本地域は度々湛水被害に見舞われており、昭和40年に島用排水機場が、平成3年には島排水機場が整備され、地域の排水施設として重要な役割を果たしてきました。しかし、近年地区内上流部の開発により、雨水の一時貯留機能を持つ農地が減少したことで地区内排水の流出量が増加してきており、既存の排水ポンプでは対応しきれなくなっていました。

■ 事業の内容

排水ポンプ4台の改修を行い、排水能力を約1.5倍向上させました。

■ 効果

対策前は、豪雨時に排水路が溢れ農地や住宅地に湛水被害が生じていましたが、対策後の令和5年6月の台風2号においては、被害はありませんでした。

対策前:平成23年9月豪雨(連続雨量158.5mm)

対策後:令和5年6月台風2号(連続雨量207.5mm)通過2日後の状況



農地において湛水被害が発生



湛水被害なし

人命・財産の被害最小化

交通・ライフラインの維持

インフラの老朽化対策

国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

災害関連情報の高度化